



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/5/9 №103

「変革 2027」の実現に向けた組織の再編について 八王子支社より提案を受けました

激変する環境に柔軟に対応していくため、「社員一人ひとりが、お客様に近い場所で創意を發揮し自己の成長と新たな価値創造を続けていく」「『安全』や『地域との関係』を維持しながら、鉄道オペレーションをサステイナブルに運営する」「成長戦略を強力に推進、収益力を強化し、変革のスピードアップを実現することを通じて働きがいの向上や経営体質の強化を実現していく」を目的に、以下のように八王子支社の仕事と組織を再編していくと説明されました。

1, 現業機関の再編

(1) (営業)統括センター関係(駅・乗務員)

今後も営業統括センターにおける業務の融合・連携、統括センターの設置等を推進していく。

(2) 車両関係

三鷹車両センター及び豊田車両センターを首都圏本部の現業機関とする。

(3) 施設関係

設備技術センターを新設し、これまでの技術センターについては体制を見直す。※別途表示

(4) 電気関係

設備技術センターを新設し、これまでの技術センターについては体制を見直す。※別途表示

2, 企画部門の再編

八王子支社の現行の各部課室を監査室、地域共創部、鉄道事業部、企画総務部に再編すると共にユニット制を導入する。

3, 業務の見直し

(1) 現業機関において現在担当している業務の見直しを行う。

(2) 八王子支社の企画部門において現在担当している業務の一部を現業機関に移管する。

(3) 八王子支社の企画部門において現在担当している業務の一部を首都圏本部へ集約する。

4, 実施期日

(1) 車両センターの再編は2023年6月とする。

(2) 設備技術センターの設置は2023年6月とする。

(3) 企画部門の再編は2022年10月とする。

(4) 業務の見直しについては2022年10月とする。

☆新設

八王子保線設備技術センター、八王子土木設備技術センター、八王子建築設備技術センター、八王子機械設備技術センター、八王子電力設備技術センター、八王子信号通信設備技術センター

☆体制見直し

各保線技術センターや土木・建築・機械・電力・信通の各技術センター

その②に続く